

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	設計製図 2	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位		授業形態	実習			
教科書/教材	建築製図 基本の基本 学芸出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善						
担当教員情報							
担当教員	天野奈緒、櫻井良明、藤田大海、遠藤政信、中村高淑			実務経験の有無・職種		有・建築設計	
学習目的							
前半は木造軸組構造の構造図の表現方法や作図方法の習得を、後半は、木造2階建住宅の設計課題を通し、建築図面の表現方法や作図方法および設計力、模型表現力、プレゼン力の習得を学習目的とする。設計する敷地は実在するもので、その土地にあった建物の設計力、模型表現も縮尺1/50とし、より細かい箇所まで制作できる模型表現力、図面・模型写真・図絵なども使ってプレゼンボードにまとめるプレゼン力を習得することが学習目的である。							
到達目標							
次の3点を到達目標とする。 ①基礎伏図、床伏図、小屋伏図、軸組図など写図より、木造建築の構造図を理解する。【木造建築の構造図の理解】 ②敷地から周辺環境を読み取り、コンセプトを検討し、適切な平面計画を導き出せるようにする。【住空間の設計手順】 ③住空間に必要な寸法計画を身につける。（部屋の大きさ、設備機器、家具の大きさなど）【スケール把握】							
授業概要	アイデアを練り、講師・教員と対話し、図面を描き、模型をつくり、発表する、という形式で授業が行われる。周辺環境の読み取り、住空間のスケール感覚を養いながら、木造2階建住宅の設計・表現力を身につける。						
注意点	設計は広範にわたる建築分野の基礎をなす科目の一つである。授業時間中の指導、講義、作業に加えて、それ以外の時間での思考、検討、作業など個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	課題作品を総合的に評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	写図 木造平家建住宅 構造図①			木造平家建住宅の基礎伏図、床伏図（S=1/50）の作図方法を理解し作図できる。			
2回	写図 木造平家建住宅 構造図②			木造平家建住宅の小屋伏図、軸組図（S=1/50）の作図方法を理解し作図できる。			
3回	設計 家型空間の設計①			家型空間の設計課題のエスキース模型（S=1/50）制作を理解し作図できる。			
4回	設計 家型空間の設計②			家型空間の設計課題の模型（S=1/50）制作を理解し作図できる。			
5回	設計 家型空間の設計③			家型空間の設計課題の模型（S=1/50）制作および図面作図方法を理解し作図できる。			
6回	設計 木造2階建住宅の設計①			木造2階建住宅の設計課題の課題説明、敷地見学し、課題内容を理解できる。			
7回	設計 木造2階建住宅の設計②			木造2階建住宅の設計課題のエスキースの手順を理解し作図できる。			
8回	設計 木造2階建住宅の設計③			木造2階建住宅の設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。			
9回	設計 木造2階建住宅の設計④			木造2階建住宅の設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。			
10回	設計 木造2階建住宅の設計⑤			木造2階建住宅の設計課題のエスキースら作図する方法を理解し作図できる。			
11回	設計 木造2階建住宅の設計⑥			木造2階建住宅の設計課題の配置図兼1階平面図の作図方法を理解し作図できる。			
12回	設計 木造2階建住宅の設計⑦			木造2階建住宅の設計課題の2階平面図の作図方法を理解し作図できる。			
13回	設計 木造2階建住宅の設計⑧			木造2階建住宅の設計課題の断面図・立面図の作図方法を理解し作図できる。			
14回	設計 木造2階建住宅の設計⑨			木造2階建住宅の設計課題の作図・模型制作方法を理解し作図・作成できる。			
15回	設計 木造2階建住宅の設計⑩			木造2階建住宅の設計課題のプレゼンテーション方法を理解できる。			